

議会活動に関する評価報告書

令和 6 年 12 月
松 山 市 議 会

全体評価

総合評価	
3. 3 (前回 3. 4)	5 十分達成された 4 概ね達成された 3 一部達成された 2 ほとんど達成されていない 1 未着手
所 見	
今任期開始以降、投票率向上に向けた議会の取組、議会改革に関する諸課題の検討（議会のデジタル化・市民参画方策）、少子化対策に関する諸課題の検討、犯罪被害者等支援条例の制定、以上の4件について政策課題として取り上げ調査研究を行ってきた。その中でも、前回の本市議会評価で今後取り組むとしていた議会のデジタル化については、包括的かつ戦略的にデジタル技術を活用した将来的デジタル議会の全体像を描くことが必要との認識のもと精力的に調査・研究を重ね、令和5年3月に松山市議会デジタル化戦略基本構想を策定した。そして、当該基本構想の具現化に向けて設置された特別委員会で、デジタル化導入に当たりハード面及びソフト面を整備し、着実に一歩ずつ前進できていることは評価できる。また、令和4年度の議会報告会では、対面とライブ配信のハイブリッドで開催するなど工夫しながら市民が議会活動に参画しやすい機会の確保に努めてきた。しかしながら、前回の本市議会評価時である2020年の早稲田大学のマニフェスト研究会の議会改革度ランキングでは全国総合153位、自治体規模内順位（中核市）17位であったが、2023年では、全国総合220位、自治体規模内（中核市）24位と前回を下回る結果となった。特に、住民参画については、2020年では全国順位357位、自治体規模内（中核市）24位であったものが、2023年では全国順位577位、自治体規模内（中核市）41位と大幅に順位を落とした結果となった。 以上から、新たな議会活動へ取り組む必要はあるものの、現状でも人員・予算・時間などのリソースは限られていることから、まずは、これまでの取組について、意を決して、時代や社会情勢に応じたスクラップ等による整理を行わなければならない。そして、今後は、デジタル技術を議会運営の効率化や利便性の向上のためだけの活用にとどまらず、多様な人材の議会への参画や住民に開かれた議会の実現に資するよう積極的に活用し、議会と住民との双方向での情報共有の仕組みづくり等による誰もが分かりやすい議会を目指しつつ、住民からの信頼性の向上にも結びつくよう、不断の努力を惜しまず取り組んで行かねばならない。	

■次ページ以降、以下5項目の議会活動の評価と今後の取組（検討項目）を掲載

- 1 議会における審議及び議会改革に関する事項
- 2 行政監視に関する事項
- 3 情報開示・説明責任及び政治倫理に関する事項
- 4 市民参画に関する事項
- 5 政策立案に関する事項

1 議会における審議及び議会改革に関する事項	
評価事項	議長は、議会の代表者として、中立かつ公平な職務の遂行を旨とし、民主的かつ効率的な議会運営に努めること。また、議員は、法令、規則等を遵守し、円滑な議会運営に協力し、市民の負託に応えなければならない。さらに、議会は、市民の意見、社会環境、経済情勢等の変化により新たに生じる市政の課題に迅速かつ的確に対応するため、継続的に議会改革に取り組むよう努める。
総合評価	
3.4 (前回3.2)	5 十分達成された 4 概ね達成された 3 一部達成された 2 ほとんど達成されていない 1 未着手
所 見	
市民の意見や社会環境等変化に対応すべく、本会議で議員定数の半数を超える議員が積極的に発言し、闊達な議論が行われ議会審議で市民の意思を反映できた。また、一問一答方式を選ぶ議員が増えて質問と答弁のやりとりが分かりやすくなった。さらに、議会のデジタル化が推進中であることなどは評価できる。一方、議会図書室の利用が少ないことや、目新しい活動実績がなく、議会の活性化が余り進んでいない。	

2 行政監視に関する事項	
評価事項	議会は、二代表制の下、市長との立場及び権能の違いを踏まえ、常に緊張ある関係を構築する。そして、議員自らの努力と議会の責任において、市長が提案する政策について、論点を整理し、審議水準を高め、世論喚起を促し、適切に判断する。さらに、予算執行を含む市政運営への監視及び評価の充実強化に努める。
総合評価	
3.4 (前回3.6)	5 十分達成された 4 概ね達成された 3 一部達成された 2 ほとんど達成されていない 1 未着手
所 見	
市長の提案に対して、質問等で論点や課題を明らかにしてチェック機能を果たしたことや、国の施策と市の取組がリンクしているかなど、政策についての論点整理及び審議水準を高め適切な判断を実施した。また、新型コロナウイルス感染症対策連絡協議会を設置し、執行部の負担を軽減しつつ、適切な情報共有ができたことは評価できる。さらに、条例案に対して市民の声を附帯決議へ盛り込むなど、二代表制の一翼を担う議会として役割を果たすことができたと言える。	

3 情報開示・説明責任及び政治倫理に関する事項

評価
事項

議員は、公正かつ清廉を基本姿勢とし、高い政治倫理の確立と向上に努める。また、議会
は、市民に対して、議会活動に関する情報を積極的に公表し透明性を高めるとともに、多
様な広報手段を使って説明責任を果たすよう努める。

総合評価

3.0

(前回3.6)

- 5 十分達成された
- 4 概ね達成された
- 3 一部達成された
- 2 ほとんど達成されていない
- 1 未着手

所 見

ケーブルテレビやインターネットによる本会議の中継と録画中継、広報紙やインターネットによ
る各議員の表決結果の公表、政務活動費の収支報告書及び収支関係資料（領収書等）や、より詳
細に内容を記載した発言通告書の公開など、ある程度情報公開は進んでいるものと評価するが、
議員に係る事案（費用弁償や政務活動費）では、市民に対する説明が不十分で責任が果たしてい
ない。今後は、これまでに扱わなかったツール等を活用するなどにより、市民に対し説明責任を
十分に果たせるよう、分かりやすい情報開示に努めなければならない。

4 市民参画に関する事項

評価
事項

議会は、市民の多様な意見を把握し、議会活動に反映させるとともに、市民が議会活動に
参画しやすい環境の整備及び機会の確保に努める。

総合評価

3.3

(前回3.1)

- 5 十分達成された
- 4 概ね達成された
- 3 一部達成された
- 2 ほとんど達成されていない
- 1 未着手

所 見

議会報告会や夏休み親子市議会体験ツアー、議会開会前イベントなど、市民が参画しやすい取組
や、議会報告会をYouTube によるライブ配信や議場で行うなど、工夫したことは評価できるもの
の、議会報告会はマンネリ化して参加者が少なくなっているため、積極的に出向き、若者を中心
に情報発信することや、夏休み親子市議会体験ツアーの目的を、子と親の参画だけでなく、この
活動をこの先、どのように活かしていくのかを考える必要がある。

5 政策立案に関する事項	
評価事項	議員は、調査機能や法務機能の充実強化等、自己の能力を高める不断の研鑽に努めるとともに、議会は、政策形成、政策立案等に係る組織体制の整備及び積極的な活用により政策立案型議会への機能強化を図るよう努める。
総合評価	
3.5 (前回 3.4)	5 十分達成された 4 概ね達成された 3 一部達成された 2 ほとんど達成されていない 1 未着手
所 見	
常任委員会の閉会中の調査研究活動は、本市議会における行政監視と政策提言の特徴的な取組であることや、政策研究会（専門部会、議会改革部会）で議員が提出した政策課題の調査研究活動が行われ、一定の成果が出せたことなどは評価できるものの、一部の専門部会で調査研究活動が進んでいないため改善が必要である。また、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度ランキングの結果を真摯に受け止め、相当の努力をしなければならない。	

今後の取組（検討項目）

1 情報公開・広報広聴・市民参画について

- ①委員会視察等の報告書の作成と公開
- ②委員会のインターネット中継及び録画中継の配信
- ③SNS のさらなる活用や今まで扱わなかったツール等を活用した議会のアピール
- ④広報・広聴活動に、より力を入れるべく広報委員会を設ける。
- ⑤夏休みの親子市議会体験ツアーについて、内容の見直しと全議員の参画
- ⑥議会報告会の開催（回数・地域・業態・開催方法等）の検討
- ⑦子ども、若者、女性議会の開催
- ⑧議会前イベントで、主権者教育の観点から、小学生や中学生の文化発表の機会とする。
- ⑨市民が市政について、さらに主体的に自己の意見・要望を述べることができる会を設ける。
- ⑩年代別による意見交換会
- ⑪学校等での主権者教育のための出前授業

2 政策立案について

- ①議員立法の条例事案の情報プラットフォームの設置及び条例制定におけるスキームの確立
- ②全議員で取り組むべきことや社会的に必要なこと以外に関し、政策立案する場合における議会としての合意形成方法の検討
- ③任期中、全議員で1つ以上の条例制定など政策立案に取り組む。

3 審査・調査について

- ①委員会の所管事務調査の充実
- ②委員会審査の活性化（委員間討議の充実）
- ③議員の多様な意見をしっかりまとめ上げる組織運営

4 デジタル化推進について

- ①ペーパーレス化の一層の促進
- ②質問議員の提示資料と音声自動字幕の表示整備（傍聴席等）
- ③さらなるデジタル技術の導入と活用による議会活動の効率化

5 議員の処遇・倫理について

- ①政務活動費及び費用弁償など議員の処遇についての見直し
- ②議員定数削減の議論
- ③政治倫理やハラスメント防止に関する条例等の制定並びに研修会の定期的な実施

6 その他

- ①議場内での防災訓練の実施